

環境経営レポート



発行日：2024年5月31日

対象期間（2023年4月～2024年3月）



株式会社 西條組.

目 次

1. 事業活動の概要	…	1
1) 事業者名及び代表者		
2) 所在地		
3) 環境管理責任者及び事務局		
4) 連絡先		
5) 事業活動の内容		
6) 対象範囲		
7) 事業規模		
8) 推進組織図		
2. 環境経営方針	…	2
3. 環境経営目標	…	3
4. 環境経営目標の実績	…	4
5－1. 環境経営計画と取組結果の評価	…	5
5－2. 次年度の取組内容	…	6
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	…	7
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	…	8

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者

株式会社 西條組

代表取締役 西條 隆雄

2) 所在地

【本社】 〒880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町下田島58番地

【土場・資材置場】 〒880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町下田島字上伝宗2366番2

3) 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者 総務部 時任 貴晶

4) 連絡先

連絡担当者 時任 貴晶(環境管理責任者)

TEL 0985-73-0030 FAX 0985-73-4131

E-mail tokitou@saijyo.jp

5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、とび・土工工事業、しゅんせつ工事業、
建築工事業、舗装工事業、造園工事業)

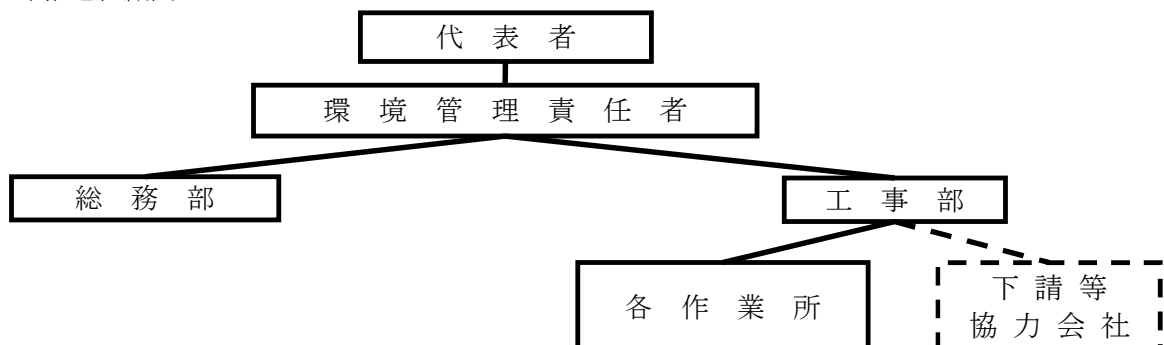
6) 対象範囲(全組織・全活動)

- ・ 本社、土場・資材置場及び各作業所を適用範囲とする。
- ・ レポートの対象期間(2022年4月～2023年3月)

7) 事業規模

項 目	単 位	2020年	2021年	2022年	2023年
工事等の件数	件	9	5	8	6
従 業 員 数	人	12	10	10	10
売 上 高	百万円	392	210	336	358
事務所床面積	m2	314.28	314.28	314.28	314.28
資材置場面積	m2	26.64	26.64	26.64	26.64
工場・作業所等 床面積	m2	213.84	213.84	213.84	213.84

8) 推進組織図



2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

企業理念:私たちは、利益確保並びに身近な環境の保全を第一義とし、循環型社会の構築に寄与できる会社となるよう、社員が一丸となり努力します。

～基本方針～

当社は、全ての事業活動に於いて、利益確保・社会貢献・環境負荷削減に必要な、下記の項目を取り組み継続的に改善を行います。
なお、この環境経営方針は全従業員に周知します。

1. 電気・化石燃料使用量の削減による二酸化炭素排出量の削減に努める。
2. 節水推進による排水量の削減に努める。
3. 廃棄物の削減や分別の徹底、リサイクルの推進に努める。
4. 創意工夫による効率的施工を推進する。
5. 環境関連の法規制を遵守し、環境管理の継続的改善に努める。
6. 地域の環境関連活動へ参加し、社会貢献を率先して実施する。
7. 環境に配慮した施工方法を推進する。



制定日:令和4年 4月 1日
株式会社 西條組.
代表取締役 西條 隆雄

3. 環境経営目標

内 容 (単 位)		場 所	年 度 別 環 境 経 営 目 標			
			基準年度	目標年度(2022)	目標年度(2023)	目標年度(2024)
			(2019/4～2022/3)の 平均値	(2022/4～ 2023/3)	(2023/4～ 2024/3)	(2024/4～ 2025/3)
CO ₂ 排出量の削減(kg-CO ₂)		削減率(%)		0.3%削減	0.6%削減	0.9%削減
		本社	16,062.12	16,013.93	15,965.74	15,917.56
		現場	41,657.26	41,532.28	41,407.31	41,282.34
		全社	57,719.38	57,546.21	57,373.05	57,199.90
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	削減率(%)		0.3%削減	0.6%削減	0.9%削減
		本社	3,794.42	3,783.03	3,771.65	3,760.27
		現場	4,964.56	4,949.66	4,934.77	4,919.87
		全社	8,758.98	8,732.69	8,706.42	8,680.14
	軽油使用量の削減(ℓ)	削減率(%)		0.3%削減	0.6%削減	0.9%削減
		本社	0.00	0.00	0.00	0.00
		現場	10,137.37	10,106.95	10,076.54	10,046.13
		全社	10,137.37	10,106.95	10,076.54	10,046.13
	電気使用量の削減(kwh)	削減率(%)		0.3%削減	0.6%削減	0.9%削減
		本社	18,828.33	18,771.84	18,715.36	18,658.87
		現場	9,229.66	9,201.97	9,174.28	9,146.59
		全社	28,057.99	27,973.81	27,889.64	27,805.46
水資源使用量の削減(m3)		削減率(%)		0.3%削減	0.6%削減	0.9%削減
		本社	80.66	80.41	80.17	79.93
		現場	0.00	0.00	0.00	0.00
		全社	80.66	80.41	80.17	79.93
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	削減率(%)		0.3%削減	0.6%削減	0.9%削減
		全社	1,943.81	1,937.97	1,932.14	1,926.31
	コピー用紙の削減(kg)	削減率(%)		0.3%削減	0.6%削減	0.9%削減
		全社	1,335.77	1,331.76	1,327.75	1,323.74
	建設副産物のリサイクル率 向上(%)	目標リサイクル率(%)	リサイクル率95%以上			
		リサイクル率(%)	99.98%			
		現場(上段:再資源化量、 下段:建設副産物発生量)	233,126			
233,164						
活有 動益 の推 進境	環境ボランティア活動への 参加推進	全社	7回	8回	8回	8回
	環境に配慮した施工推進	現場	-	創意工夫による工期短縮		

*購入電力の二酸化炭素排出係数は平成22年度九州電力の実排出係数0.387を使用しています。

4. 環境経営目標の実績

※評価は達成○、ほぼ達成△、未達成×

内 容 (単 位)		場 所	目 標 値	実績値	達成率	評価
			(2023/4～2024/3)	(2023/4～2024/3)		
CO ₂ 排出量の削減(Kg-CO ₂)		削減率(%)	0.6%削減			
		本社	15,965.74	11,080.17	144.1%	○
		現場	41,407.31	20,136.85	205.6%	○
		全社	57,373.05	31,217.02	183.8%	○
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	削減率(%)	0.6%削減			
		本社	3,771.65	2,631.92	143.3%	○
		現場	4,934.77	3,956.11	124.7%	○
		全社	8,706.42	6,588.03	132.2%	○
	軽油使用量の削減(ℓ)	削減率(%)	0.6%削減			
		本社	0.00	0.00	-	○
		現場	10,076.54	2,887.20	349.0%	○
		全社	10,076.54	2,887.20	349.0%	○
	電気使用量の削減(KWh)	削減率(%)	0.6%削減			
		本社・営業所	18,715.36	12,853.00	145.6%	○
		現場	9,174.28	9,069.00	101.2%	○
		全社	27,889.64	21,922.00	127.2%	○
水資源使用量の削減(m ³)		削減率(%)	0.6%削減			
		本社	80.17	85.00	94.3%	△
		現場	0.00	0.00	-	○
		全社	80.17	85.00	94.3%	△
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	削減率(%)	0.6%削減			
		全社	1,932.14	463.00	417.3%	○
	コピー用紙の削減(kg)	削減率(%)	0.6%削減			
		全社	1,327.75	246.63	538.4%	○
	建設副産物のリサイクル率向上(%)	目標リサイクル率(%)	リサイクル率95%以上			
		リサイクル率(%)	95.00%	100.00%		○
現場(上段:再資源化量、下段:建設副産物発生量)			59,304.36			
有益な推進活動	環境ボランティア活動への参加推進	全社	8回	9回	112.50%	○
	環境に配慮した施工推進	現場	創意工夫による工期短縮	順守している		○

*購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の平成22年実排出係数0.387を使用しています。

5-1. 環境経営計画と取組結果の評価

※評価は達成○、ほぼ達成△、未達成×

取 組 項 目	経 営 活 動 内 容	部 署	評 価	取 組 評 価
1. ガソリン 使用量の削減	1-1. アイドリングストップ、エコ走行の実施徹底	全社	○	アイドリングストップや相乗り等によりガソリン使用量の削減に繋がり、現場・本社とも環境経営目標を達成した。
	1-2. 現場等への相乗りの実施	全社	○	
	1-3. 小型発電機、ランマー等のこまめなエンジン停止を徹底	現場	○	
2. 軽油 使用量の削減	2-1. アイドリングストップ [※] 、エコ走行の実施徹底	現場	○	アイドリングストップやこまめなエンジン停止が徹底されていた。また、基準年と比べて重機作業が少なかったこともあり、現場の軽油使用量削減の環境経営目標を達成した。
	2-2. 現場等への相乗りの実施	現場	○	
	2-3. 重機、機械のこまめなエンジン停止を徹底	現場	○	
	2-4. 重機、機械の定期点検整備の実施	現場	○	
3. 電気 使用量の削減	3-1. 冷暖房の設定温度管理の徹底	全社	△	夏期の場合は熱中症対策のため、電気使用量削減が難しい現場もあった。しかし、未使用時の電源オフの徹底などで節電を図り、本社、現場ともに電気使用量削減の環境経営目標を達成した。
	3-2. 不在時及び昼休みの電気消灯を徹底	全社	○	
	3-3. 休日での作業を行わないことを徹底する	全社	○	
	3-4. エアコンフィルターや照明器具等の定期的な清掃	本社	○	
	3-5. 未使用時にプリンター等の電源オフを徹底する	本社	○	
4. 水資源 使用量の削減	4-1. 定期的な漏水点検の実施	本社	○	昨年よりは使用量削減にはなったが、環境経営目標を達成出来なかった。再度徹底を指示。
	4-2. 不必要な水を使用しない、こまめな節水	本社	△	
5. 一般廃棄物 の削減	5-1. 廃棄物分別の徹底	全社	○	社内連絡は用紙ではなくPDFやExcel等ペーパーレス化を徹底している。一般廃棄物削減、コピー用紙使用量削減の環境経営目標を達成した。
	5-2. 社内連絡等の資料のペーパーレス化	全社	○	
	5-3. 両面コピーや裏紙使用の徹底	本社	○	
6. 建設副産物の リサイクル率向上	6-1. マニフェストの管理徹底	現場	○	今年度の発生した主な廃棄物はコンクリート塊、木くずであった。建設副産物リサイクル率の環境経営目標を達成した。
	6-2. 分別処理を徹底しリサイクルに努める	現場	○	
7. 環境保全活動 の推進	7-1. 地域のボランティア活動へ積極的に参加する	全社	○	去年までコロナで中止となったボランティアを今年は全て行うことができた。環境経営目標を達成した。
	7-2. 現場、事務所周辺の清掃活動	全社	○	
8. 環境に配慮した 施工の推進	8-1. 創意工夫による工期短縮	現場	○	どの工事でも工期短縮することが出来た。
	8-2. 環境に配慮した土木構造物の施工方法に関する提案を行う	現場	○	

5-2. 次年度の取組内容

取 組 内 容	主 　　な 　　活 　　動 　　計 　　画	推 進 責 任 者		
		各現場 代理人	本社	全社員
1. ガソリン 使用量の削減	1-1. アイドリングストップ、エコ走行の徹底			○
	1-2. 現場等への相乗りの実施			○
	1-3. 小型発電機、ランマー等のこまめなエンジン停止を徹底	○		
2. 軽油 使用量の削減	2-1. アイドリングストップ、エコ走行の徹底	○		
	2-2. 現場等への相乗りの実施	○		
	2-3. 重機、機械のこまめなエンジン停止を徹底	○		
	2-4. 重機、機械の定期点検整備の実施	○		
3. 電気 使用量の削減	3-1. 冷暖房の設定温度管理の徹底			○
	3-2. 不在時及び昼休みの電気消灯を徹底			○
	3-3. 休日での作業を行わないことを徹底する			○
	3-4. エアコンフィルターや照明器具等の定期的な清掃		○	
	3-5. 未使用時にプリンター等の電源オフを徹底する		○	
4. 水資源 使用量の削減	4-1. 定期的な漏水点検の実施		○	
	4-2. 不必要な水を使用しない、こまめな節水		○	
5. 一般廃棄物 の削減	5-1. 廃棄物分別の徹底			○
	5-2. 社内連絡等の資料のペーパーレス化			○
	5-3. 両面コピーや裏紙使用の徹底		○	
6. 建設副産物の リサイクル率 向上	6-1. マニフェストの管理徹底	○		
	6-2. 分別処理を徹底しリサイクルに努める	○		
7. 環境保全活動 の推進	7-1. 地域のボランティア活動へ積極的に参加する			○
	7-2. 現場、事務所周辺の清掃活動			○
8. 環境に配慮し た施工の推進	8-1. 環境に配慮した施工計画の提案を行う	○		
	8-2. 環境に配慮した重機を使用する	○		

※次年度以降も上記の環境経営計画を継続して取り組むが、効果的な活動が確認された場合や、社会環境の状況の変化などによって随時追加、変更する場合がある。

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社の事業に係る環境関連法規は、担当者が定期的に建設業協会からの情報や日建連、Webによる情報検索等で最新情報等を確認しています。
 なお、関連法規制の遵守状況確認を実施した結果、違反はありませんでした。
 また、関係当局からの指摘及び地域住民からのクレーム訴訟もありませんでした。
 現場での遵守状況は、環境パトロールや品質安全会議などでも確認しています。

※当社の事業に係る主な環境関連法規と遵守状況は以下の通りです。

環境法規制等の名称	主な遵守事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託先の許可確認、委託契約の締結	遵守
	マニフェストの交付、回収、照合(発行後B2、D票90日、E票180日以内) A、B2、D、E票保管(5年間)	
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書(3号様式)で県知事、市長へ報告	
	保管場所の掲示板設置	
再生資源利用省令	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存(1年間)	遵守
指定副産物利用促進省令	指定副産物に係る搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	該当工事 なし
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	
	分別解体等、再資源化等の促進、再生資源の使用	
建設副産物適正 処理推進要綱	発注者との連絡調整・管理及び施工体制の整備・協力業者の指導等	遵守
	「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録を1年間保管	
フロン排出抑制法	機器の点検(簡易点検3ヶ月に1回以上)、点検等の記録を保管	遵守
騒音規制法	知事へ7日前までに届け出、作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守
振動規制法	知事へ7日前までに届け出、作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守
浄化槽法	年1回の清掃と年3回の保守点検の実施	遵守
	年1回の法定点検の実施	
海洋汚染防止法	海上保安庁長官に設置工事開始30日前までに届出	遵守
	緊急連絡体制、通報要領、防除措置の整備	
	油濁防止緊急措置手引書の作成・掲示、油記録簿の記入・保管	
	オイルフェンス、油吸着材、油処理剤の数量確認	
	環境大臣への事前申請、海上保安庁長官に投入処分前に届出	
	船舶発生廃棄物汚染防止規程の備え置き又は掲示、船舶発生廃棄物の排出順守事項の掲示	
海洋汚染防止法 ダイオキシン特措法	必要に応じ海上保安部に分析結果を提出	遵守
廃棄物処理法(船舶関係)	収集運搬業許可証の確認、都道府県知事への申請	該当工事 なし
水産資源保護法 水質汚濁防止法	「水産用水基準」に基づき自主管理	遵守

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価
①環境経営目標の達成状況	今年度も前年度と同じ環境経営方針である。各工事で問題なく施工できたことを確認した。
②環境経営目標の達成状況	該当年度の工事件数が多くなかったこともあり、目標達成出来た項目が多くあった。 一方で水資源使用量の削減が目標達成出来なかった。しかし、昨年度よりは使用量の削減が来ているので、来年はすべての項目で達成出来るような取り組みをしていきたい。
③環境経営計画の実施及び運用結果	ほとんどの項目で問題なく実施出来ている。今後も継続して活動計画を取り組む。
④環境関連法規等の遵守状況	継続して遵守し、改正や強化された部分についてはその都度対処されていることを確認した。
⑤実施体制	今年度も前年度と同じ実施体制である。各部門の役割を明確にし、分担することが出来た。
⑥外部からの苦情、要望等	当期間での苦情、要望等は無かったことを確認した。

指示項目	代表者による指示
①環境経営方針	今までの環境への取組結果から、補足等があれば随時改定を行う。
②環境目標及び経営活動計画	現場や社会環境等の状況を見ながら、目標や活動内容の見直しを検討し、取り組んでいきたい。
③環境関連法規等	関連法規の遵守を第一に考え、法改正等の最新情報を把握しながら、取り組んでいきたい。
④実施体制	現行のE A 2 1 推進組織を継続する。
⑤外部からの苦情、要望等	苦情等の発生はなかったものの、今後も周囲への配慮を怠らず誠意のある作業に徹していきたい。万が一苦情等が発生した場合でも、迅速で適切な対応が出来る体制の強化を図っていく。

全体の評価
昨年よりも工事件数が減ったこともあり、ガソリンや軽油の使用量削減など、ほとんどの項目で環境経営目標を達成することが出来た。今後も継続して実施していきたい。 また、令和5年度はコロナ感染者が出ており、工期の延長等の影響はなかったものの、今後もコロナ対策を万全にしながら工事に取り組んでいきたい。 エコアクション21に関しては、若手社員が中心となって行っているが、今後も各施工現場も含めて積極的に取り組んでほしい。